

一志東小学校だより

No. 5 令和6年5月31日 津市立一志東小学校

【学校教育目標】

よく学び、心豊かで活力
ある川合っ子の育成

【校訓】至誠

～凡事徹底（当たり前のことを徹底して行うこと）～

人とのつながいを大切に

毎日元気いっぱい活動する子どもたち。そんな中、どうしても起こってしまうのが、友だちどうしのトラブルです。新学期が始まってから間もなく2か月になろうとしています。この間に気になった子どもたちの様子を少し挙げてみたいと思います。

○思い立ったら、すぐに行動に移してしまう

- ・思いつくままに行動するのではなく、今やっていること、今からやろうとしていることは正しいことなのか、やってもいいことなのか考えてから行動することが大切です。「もし、自分が同じことを言われたり、されたりしたらどうか？」と相手の立場に立って考えることも大切です。

○友だちに対する印象の持ち方

- ・人の印象というものは、周りの人たちの評価などによる影響が大きいものです。人の話や噂話をうのみにして決めつけてしまうのではなく、自分自身の目で確かめたうえで判断することが大切です。
- ・人の嫌なところや悪いところを見つけるのは簡単です。でも、その人のいいところは、その人のことをしっかりと見ていなければ、なかなか見つけることはできません。ましてや、先に嫌なところを見つけて、その人をそういう印象で見えていたらなおさらです。「誰にでも、いいところがある」という気持ちで人と接することが大切です。

先日、すべてのクラスで、学年の発達段階を考慮しながら、上記のようなことについて各担任が子どもたちに話をしました。学校は、たくさん子どもたちが集団生活を行う場所です。みんなが楽しく元気に毎日を過ごすためには、ルールやマナーなど、いろいろなものが大切です。しかし、大切なことは、子どもたち一人ひとりの気持ちだと思います。「自分と同じように周りの友だちも様々な思いを持っており、お互いに尊重しあわなければいけない」「自分だけがよければいいという考え方では、良好な人間関係は作れない」そのために必要なことは、子どもたち一人ひとりが正しい価値観を持ち、それをもとに自分自身の行動について、自分自身で考える力をつけることだと思います。「誰かに言われたから」ではなく「自分自身で考えて行動できる」、そんな子どもたちに育ててほしいと思います。そして、一志東小学校のすべての子どもたちが、ともに活動する友だちを「かけがえのない仲間」と思える、そんな関係を築いていってくれることを期待しています。